

東北から神戸へ・神戸から東北へ

想いをつなぐひととき

2024年3月11日。東日本大震災の発生から13年目の春を迎えます。神戸でも東北でも震災の記憶を風化させることなく、被災地に心を寄せたり、次の世代に語り継いでいくことが重要です。今回は東日本大震災の原発事故で関西に自主避難されたゲストをお迎えし、震災の経験、自主避難を決意した理由、大阪での新しい暮らしで戸惑ったことなどをざっくばらんに語っていただきます。震災を忘れないために、そして私たちのまちに自主避難してこられた方々のために、自分たちに何ができるかを考えます。

【ゲスト】 森松明希子さん

福島県在住中に東日本大震災及び福島原子力惨禍に被災。
0歳と3歳の2児を連れて大阪へ国内避難（母子避難）。
国内外で講演を続け、災害による被災者・避難者の人権について訴える。スイスジュネーブの国連人権理事会にてスピーチ。



【日時】3月16日（土）13:30～15:30

【場所】地域共生拠点・あすパーク

【参加費】500円（大学生以下無料）

【主催】地域共生拠点・あすパーク／認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸

【共催】あすパ・ユース震災語り部隊、あすパークソーシャルカフェチーム

＜会場＞ 地域共生拠点・あすパーク

（認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸）

神戸市灘区中郷町5丁目1大和公園内 ※JR六甲道駅から徒歩10分

T:078-200-5293 F:078-200-5294 mail:aspark@cskobe.com

＜申込＞ ①お名前、②ご所属、③連絡先、④希望するプログラム、⑤参加動機、を明記し、
グーグルフォーム、メール、FAX等でお申込ください。

